

第7回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

1 日時

平成24年2月8日（水）午後6時30分～午後7時10分

2 場所

道頓堀リンデンビル4階映像ホール

3 出席者（敬称略）

役	職	氏名
大阪府知事		松井 一郎
大阪市市民局長		杉本 佳英
大阪府警察本部長		坂口 正芳
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長		岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人		福長 徳治
大阪商工会議所副会頭		小嶋 淳司

4 意見交換

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

7年前にこの会議は出来たが、その当時のミナミの街は、黒服でたむろし強引な客引きを行う、いわゆる「カラス族」がうろつき、卑わいな巨大な看板を抛出する風俗案内所も至るところに存在するなど、地元の者でも近寄りがたい街となっていた。

放置自転車は雑然と置かれ、はみ出し看板やゴミの放置などもあり、街の雰囲気は大変悪いという印象を与えるものであった。

そのような中、「風情のあるミナミの街を取り戻したい」「自分たちでミナミの街を良くしていく」という熱い思いを持った地元の者たちが集まり、平成17年2月に地元商店街や地域振興会などを構成員とする「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」を設立した。

それ以来、地元では『みんなでつくろう ええ街ミナミ』をスローガンに、毎月、行政・警察・経済界との連絡会議や夜間の合同パトロールを行ってきた。

さらには、はみ出し看板等の解消に向けた自主規制を強化するなど、ミナミの環境浄化や活性化に努力してきた。

このように、地元の力を結集して、行政、警察、経済界と一致団結をして様々な取組みを行ってきた結果、誰もが「ミナミはええ街」だと実感してもらえる風情を取り戻しつつあると感じている。

特に「風俗環境問題」では、迷惑防止条例の改正や風俗案内所条例の制定などにより警察の取締りを強化していただいた結果、違法な風俗案内所などは減少した。違法風俗店等への直接の取締りも推進していただき、風俗環境は改善されつつあると考えている。

一方「放置自転車」では、大阪商工会議所が事務局となっている「自転車問題対策協議会」を中心に働きかけを行った結果、平成21年10月に、ミナミエリア一帯が放置自転車禁止区域に指定された。

その後も、駐輪場の拡大や放置自転車撤去回数の増加、地域事情に合わせた撤去活動の一つで

ある夜間撤去も実施していただき、放置自転車の数が減少してきている。

また、官民一体となって取り組んでいた「地域のルールづくり」の一環として、歴史や風情が息づく个性的で格調高い魅力的なまちなみを再生・創造するために、平成 22 年 4 月に宗右衛門町地区において、歓楽街では初めてのケースとなる地区計画が策定された。さらに、宗右衛門町地区では、石畳の道の復活に向けて道路の美装化も進んでいる。

こうした活動によって、街の健全化・活性化に一定の成果が上がっているというところであるが、現在のミナミでは、通行の妨げなどになる「客引き」が問題となってきている。

現在の法令等で規制されている執ような客引きなどは警察に取締りをしていただいているが、一部の飲食店などは規制対象とはならず、ミナミを訪れる方々に大変迷惑となる客引き行為が行われており、客引きそのものを商売とする専門会社まで現れるといった始末である。

このような迷惑な客引き行為は、一時的に特定の店が潤うことがあっても、街のイメージを損ない、将来的にはミナミの街全体の衰退に繋がっていくものと考えている。

また、夜遅い時間の風俗店の客引きについても同じことが言える。

地元としても、街の活性化にとってマイナスとなる客引きを排除していくために、それぞれの商店街等による客引き排除のパトロールに加え、昨年 9 月にはこのミナミ歓楽街環境浄化推進協議会において、地元商店街等により「客引き排除活動 共同宣言」が作られ、一体となって自主規制を強化している。

今後も、迷惑な客引き排除に関しては、各団体と連携をしながら積極的に取り組んでいくので、今一段の規制強化に向けてもご協力をよろしくお願いしたい。

このミナミ歓楽街環境浄化推進協議会の活動も現在で 7 年目を迎え、当協議会としては、さらに地元の力を結集し積極的に取組を進め、官民協働によるミナミの環境浄化と街の賑わいづくりにまい進してまいる所存である。

特に賑わいあるまちづくりについては、平成 27 年に道頓堀川が開削をされて 400 年を迎えることから、地元としてはこれを大きな契機としてとらえている。

道頓堀川開削 400 周年と連動した観光戦略の一環として、府市統合本部で検討されている道頓堀 2 キロメートルのプール構想などをはじめ、『なにわのほんまもの「食」』や上方文化の特徴であるライブエンターテイメントなどにより、国内外からの観光客にミナミを訪れてもらい、国際都市大阪の魅力をアピールしていきたいと考えている。何とぞ皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

今後とも行政、警察、経済界、賛同団体の皆様からご支援・ご協力をいただきながら、魅力ある街づくり、魅力あるミナミの再生・創造に向けて、まちづくり活動を推進してまいりたいので、何とぞよろしくお願いしたい。

○ 大阪府知事

大阪を元気にしていくには、西日本でも有数の繁華街であり大阪の名物であるミナミ歓楽街、ここが元気になっていただかなければならない。

そして、それを元気にするためにこのミナミ活性化協議会の皆さんが日夜ご努力いただいていることに心から感謝、お礼を申し上げる。

大阪も大きく変わってきている。先程お話にもあったとおり、府市統合本部というものを橋下市長とともに立ち上げた。

今まで大阪府や大阪市がそれぞれの縄張り争いでバラバラに動いてきたことにより大阪の持つポテンシャル、こういうものを十分に発揮できていないことが大阪の閉そく感、大阪経済の低迷に繋がってきたと思っている。そこでこのミナミという地域が元気になり大阪の賑わいあるま

ちづくりの先頭に立っていただくことが大事だと認識している。

お話にもあったが、道頓堀川開削から400周年を目指して道頓堀川にプールを作って、一つの名物にしようということは今検討している。これは実施する方向で橋下市長とも色んな制度設計や問題点の整理に入っている。地元の皆さん方には是非ご協力していただくことで、このミナミの街に人が集まる、そして物が売れる、元気が出る、そういう風なまちづくりをしていきたいと思う。

ミナミの街も色々と言われている。「治安はどうか」「安心で安全な歓楽街と言えるのか」というような諸課題が様々ある。しかし、環境浄化推進協議会の方々にも7年前から活動していただき、ミナミの街の治安は良くなってきている。

昨年の4月には「暴力団排除条例」が施行され、アンダーグラウンドの中でミナミの商売されている皆さん方を食い物にし、色々な意味で経済活動を阻害していたような団体に対しての法律も出来た。きっぱりと手を切ってこのミナミの街が誰が来ても安全で安心で楽しめるような街にしていきたいと思っている。

大阪府としては、治安対策について府警本部と一緒に犯罪の抑止というものにも全力を挙げて努めている。抑止に必要な様々な警察力の強化や防犯カメラを中心に、犯罪の抑止に繋がるような対応を行っている。これも大阪府庁・警察だけでは出来ない。地元の皆さんの協力があってこそだと思う。これからも皆さん方とともにミナミを活性化していくための様々な施策、そういうものに全力で取り組んでまいりたいと思う。

今日は後ほど一緒にパトロールに出向き、皆さんとともにこのミナミが安心で安全で楽しい街になることを念願しており、皆さんと一緒に街を作っていくことが私達の思いである。これからも皆さんとともに活動してまいりますのでよろしくお願ひしたい。

○ 大阪府警察本部長

平成17年に発足した協議会も7年目となった。まさに大阪の顔とも言えるこのミナミの街を安全で魅力あふれる街にするためにオール大阪体制で取り組んで来た。

我々としては、特にこのミナミの対策については大きく二つの点に中心をおいてきた。

まず一つは暴力団や来日外国人と言ったいわゆる組織犯罪の対策である。

ミナミの街に暴力団等の犯罪組織を根付かせないという観点でこれまでに売春や違法カジノ、さらには違法風俗店の取締り、薬物の取締りに集中的に取り組んできた。

これまでも街の皆さんのご協力をいただきながら成果をあげてきたが、しかし彼らにとってもこのミナミは資金源になりかねない街である。警察としてはそういった思いでこれからも南署に本部からも応援を出して、このミナミの街に犯罪組織を根付かせないために集中的な体制をとっていききたいと思っている。

二つ目は街頭犯罪対策である。

このミナミのエリアでもまさに皆様方の取組みの結果、街頭犯罪全体は大幅に減ってきた。しかし、ひったくりや車上ねらいといったものはかなりの割合で減少しているが、一方では路上強盗が増えている。

さらに強制わいせつが南署管内で多く発生しており、こういった街頭犯罪というものもやはり住民の方、さらにはミナミの街に来られる府民等にとっても大きな不安材料になりかねないものである。

我々としてもそういった色んな犯罪の発生状況を分析して、南署を中心にきちんとした取締り体制で必要な検挙をしていく。

また、先程知事からのお話にあったとおり、街頭における防犯カメラの設置を勧めいただき、

予防とともに、起こった場合には素早く検挙する、そのように住民の方やミナミに来られている方々に安心していただける街づくりに努めていきたいと思っている。

他にも客引きや駐輪・駐車、さらにはミナミの場合少年非行といった問題などがある。

このような様々な問題に対して、行政・地元の皆様方と一体となり、オール大阪体制でこの歴史あるミナミの街が国内外から魅力ある街として更に発展できるように努めていきたいと思っているので、今後とも協力をお願いしたい。

○ 大阪市市民局

これまで地域、大阪府、大阪府警と緊密な連携をとって取り組んできたので、重複する点もあるが本市の取組みとして3点にわたってご報告をさせていただく。

一点目は、放置自転車対策である。

ミナミエリアにおける自転車放置禁止区域の指定以降、ミナミ活性化協議会の構成団体の皆さん、とりわけ地元の商店会や町会で構成されたミナミ歓楽街環境浄化推進協議会の皆さんのご協力のもと、確実に放置自転車は減少してきた。改めて、この場をお借りしてお礼申し上げる。

これまで放置自転車については、地元の皆さんの要望を反映して、夜間撤去も実施してきた。今後も、撤去時間帯、休日の撤去等について、地元の皆さんの要望を伺いながら、継続して取り組んでいきたいので、引き続きご協力をお願いしたい。

また、撤去する一方で、駐輪場の増設についても、昨年度の約1,250台に加え、今年度中には約420台を増設する予定である。今後も駐輪場の整備に努めていくこととしている。

二点目は、健全で魅力あるまちづくりをめざした、まちのルールづくりである。

先程のお話にもあったが、平成22年に「宗右衛門町地区地区計画」を決定し、建築物の制限に関する条例も合わせて定め、さらに、地元、大阪府警、大阪市の3者により、実効性のある運用を行うための仕組みをつくり、情報共有等を進めてもらっているところである。

これは、大阪の代表的な歴史ある繁華街である「宗右衛門町」の再生・にぎわいをめざして、「宗右衛門町活性化協議会」の方々に主体となって取り組んでいただき、大阪市としても全面的に活動を支援しており、心齋橋筋地区においてもこうした支援を行っているところである。

今年度からは新たに「久左衛門町及び三津寺町まちづくり協議会」及び「なんば安全安心にぎわいのまちづくり協議会」などについても、地域主体のまちづくり活動に対する支援を行っている。

今後とも、地元の皆さんや関係団体と連携した取組みを推進するとともに、「道頓堀川開削400周年」を視野に入れ、魅力的で人が集う賑わいあるミナミのまちづくりを進めていきたいと考えている。

三点目は、地域防犯対策である。

これまで街頭犯罪のさらなる減少を目指して、大阪府や大阪府警と緊密に連携しながら、青色防犯パトロール活動に対する支援や防犯カメラの設置費補助、落書き消去活動に対する支援など地域の皆さんとの協働を基本として取り組んできたところである。

特にミナミ地区については、ひったくりや自転車盗などの街頭犯罪が多発していることから、本市としても、警備会社に委託して行っている夜間・深夜の青色防犯パトロール事業では、他の区や地域よりも重点的な配置を行うなど、街頭犯罪の抑止に向けた取組みを進めているところである。

これらの取組みの結果、市内の平成23年の街頭犯罪発生件数は、前年に比べ13%減少しており、とりわけ深刻な事案となっていたひったくりを含めて、街頭犯罪と呼ばれている8項目のうち5項目についてワースト1を返上したところである。

しかしながら、先日の淀川区内の事案のように、帰宅途中の小学生児童が刃物で刺されるとい

う痛ましい事件も起こっている。現在子どもが被害者となる犯罪が多いことを重要視しながら、今後も市民の皆様方と一緒に、街頭犯罪のさらなる減少とあわせて子どもの安全対策にも、より一層取り組んでいきたいと考えている。

ミナミのまちは、地元の皆さんの積極的な取り組みと関係機関の協力により、安全で安心して楽しめるまちに変わってきたところである。

しかしながら、先程も説明にあったが、客引き問題なども大変重大な課題と考えており、今後とも皆さんと連携しながら、一層前進させていきたいと考えているので、今後ともよろしく願いたい。

○ 大阪商工会議所副会頭

皆様方から数々お話があったように、ミナミの環境浄化に向けた具体的な取り組み、これは非常に皆さんの努力の結果であるが、目に見えて成果が上がってきていることは本当に喜ばしいことである。

こういった地元の皆様方の粘り強いご努力や行政関係者のご支援に改めて敬意を表する。

私ども大阪商工会議所では、「千客万来都市OSAKAプラン」を掲げ、中国をはじめとするアジアからの観光客やビジネス旅客を積極的に受け入れていこうと「旅游都市化推進プロジェクト」を進めているところである。

それにおいてもミナミは、大阪においてインバウンド推進の中心的な役割を担っている。大阪ならではの賑わいを、誰もが肌で感じられるまち、それがミナミだと思う。去年は、様々な要因から、一時、来街者数も減少が見られたようだが、現在では従来を上回る外国人観光客が訪れていると聞いている。

一方で、ミナミを訪れる外国人観光客にも変化が出てきているように思う。これまでは、団体旅行による観光客が多くを占めていたが、このところ、自由にまちをめぐる個人旅行による観光客の割合が確実に増えているものと実感している。

また、こうした個人旅行で訪れる方々の中には、リピーターとしてミナミを訪れている方も数多くおられるようである。個人旅行客は、今後ますます増加するものと見込まれている。こうした方々に「いつ訪れてもミナミは楽しい」、あるいは「ミナミに来るとさらに元気をもらえる」と感じてもらえるような環境づくりをより一層進めて行くこと、これがインバウンドの増強に繋がっていくのではないかと考えている。

一方で、大阪ミナミならではの多彩な、例えば「食」の魅力を作っていく」「ミナミならではの様々なエンターテインメントを楽しめる」といった仕掛けをつくるなど、常に効果的な情報発信を行っていくことが必要だと思っている。

宗右衛門町の石畳の道も、今年の春に半分出来上がり、来年完成すると聞いている。そして2015年には、ミナミの象徴と言うべき道頓堀が開削400周年を迎える。大阪のまちのさらなる発展に向けた起爆剤になるように、大阪の経済界や行政が一丸となって知恵と資源を結集し、具体的な取り組みを進めて行かなければならないと思っている。

これまで大阪商工会議所においては、ミナミの違法駐輪の削減に向けて取り組んできた。最近では商店街の皆様方と連携し、中国人観光客の受け入れに向けた環境づくりにも取り組むなど、多くの関係者の皆様と手を携えながら事業を行っているところである。

かつて大阪には、近代都市として急成長した大正の後期から昭和の初期にかけて、「大大阪(だいおおさか)」と呼ばれた時代がある。東京よりも人口の多い都市として大変活気に満ちたまちとして認識されていたが、この「大大阪」が市民や企業家の高い気概に支えられていたように、大阪ミナミの活性化には、企業、市民、行政、経済界等が、それぞれ高い主体性と参加意識を持つことが不可欠である。

大阪商工会議所としても、ミナミ活性化協議会を通じて、「オール大阪」・「全員参加」で魅力あるまち「ミナミ」を実現していくために、皆様方とともに取り組んでいきたいと思っているので、今後とも変わらぬご支援・ご協力のほどお願い申しあげる。

○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

ただいま各団体の代表者の方々から今までの取組み、またその結果についてご報告をいただいた。その中でもこれからもより一層ミナミの活性化に向けての取組みに努めていただく旨の大変力強いお言葉を頂戴し「大変ありがたい」と心から感謝している。

本協議会は大阪府をはじめ、大阪市、大阪府警察、経済界、そして我々地域というオール大阪でこれまでの間動いており、日本一、世界一安全安心なまち大阪ミナミを目指しているわけである。

地域の取組みとしては、人気があって、明るく楽しい、商売人も繁盛し、賑わいや魅力ある大阪ミナミのまちを目指している所以、今後とも我々は気持ちを前へ前へと、大阪の心意気をまさしく邁進していきたいと考えている。

しかしながら、地域の地域力も限度・限界がある。

そこで、本日は大阪府松井知事もご出席いただいているので、一つお願いがある。お願いというのは警察力を強めていただきたい。つまり、警察官を増員していただきたいということである。大阪府南警察署においても警察官が少ないように感じる。安心安全な賑わいのある魅力あるまちづくりを願う私共にとっては、この大阪のイメージというものが大変重要なことだと思っている。ワースト1というような汚名も返上しなければならない。どうか皆様方にはよろしくご支援・ご協力をお願い申しあげます。

会場の皆様方においても、この活性化協議会に対して、心からなるご支援・ご協力をいただいていることについて、大変ありがたく重ねて厚くお礼申しあげます。

5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第7回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

6 啓発イベント、パレード

代表者会議終了後、リンデンビル1階コンコースにおいて啓発イベントを行い、道頓堀通（リンデンビル～戎橋南詰）でパレードを実施した。

※放置自転車撤去と放置自転車追放キャンペーン

代表者会議の前に、道頓堀（相合橋～御堂筋の間）で大阪市建設局による放置自転車の撤去及び参加者による自転車放置禁止区域の啓発キャンペーンを実施した。

第7回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれは、大阪の経済・文化・観光の中心地「ミナミ」を、国際都市 OSAKA を代表するまちとするため、地域住民・経済界・行政が一体となったオール大阪体制で、風俗環境の浄化、放置自転車対策、まちのルールづくり等に取り組んできた。

これらの取り組みは、まちの健全化・活性化に一定の成果を上げているところであるが、まちの健全な賑わいを阻害するような違法な客引きをはじめとする風紀・風俗事犯や暴力団犯罪、街頭犯罪などが多発しているとともに、はみ出し看板や放置自転車等により、まちの美化が損なわれている現状から、更なるミナミの環境浄化に向けた取り組みが求められている。

そこで当協議会は、まちの環境浄化、美化の妨げとなる事象を根幹から改善し、誰もが安全で安心して楽しめるミナミのまちを築いていくため、次の施策を推進することとした。

- ① 暴力団及び来日外国人犯罪組織が関与する売春事犯、遊技機使用賭博事犯、薬物事犯、不法滞在者等に対する取締りを強化するとともに、違法な客引き行為の排除や、街頭犯罪の抑止対策、各種交通対策を、自治体・地域住民等との協働した取り組みにより強力的に推進する。
- ② 自転車等放置禁止区域の周知徹底、啓発を図るとともに、民間駐輪場の有効活用のための広報や駐輪場の増設など、より一層の取り組みを進めていく。
- ③ 道頓堀川開削400周年を平成27年に控え、ミナミの文化や景観を守りながら、水辺を楽しみ、食を楽しむ風情が息づく魅力的で人が集う賑わいあるまちなみを再生・創造する活動を引き続き強力的に進めていく。

平成24年2月8日

【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	松 井 一 郎
大阪市長	橋 下 徹
大阪府警察本部長	坂 口 正 芳
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡 本 敏 嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福 長 徳 治
大阪商工会議所会頭	佐 藤 茂 雄
社団法人関西経済同友会代表幹事	大 竹 伸 一

～賛同団体～

国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所
ミナミまち育てネットワーク
公益社団法人関西経済連合会
財団法人大阪観光コンベンション協会